

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、16～22℃台を示し、やや高めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――月夜間とシケで出漁日数が少なかった。西彼地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり4トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。北松南部地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり9トンの水揚げで、前週の64%（前年を下回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり37kgの水揚げで、前週の70%（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり206kgの水揚げで、前週の2%（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり9kgの水揚げで、前週の28%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり10kgの水揚げで、前週の4%（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり1.8トンの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり80kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マアジなどが1日1統当たり310kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり73kgの水揚げで、前週の62%（前年を下回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり5kgの水揚げ（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（4/14～4/19の6日間）沖合イカ釣（船凍船）は、切揚中。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐諸島周辺～能登半島沖～佐渡沖で操業。鳥取県西部（沖合船）3日延16隻、総計423箱、1航海最高58箱、平均26.4箱。スルメイカを漁獲、魚体は20～40入。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>